



医療現場の 「やさしい日本語」コミュニケーション シナリオ募集！

医療×「やさしい日本語」



あなたやあなたの周りで「やさしい日本語」が必要だと感じた、
または実際に役立ったエピソードをお寄せください。

シナリオ・エッセイ

咳が続くという、外国から来ている友人に付き添ってクリニックを受診しました。

医師：「本日はどうなさいましたか？
どのような症状がどれくらいの期間、持続していますか？」

患者：「...？」

友人がとまどっていたら、そばにいた看護師の方が話し方を変えて質問してくれました。

看護師：「日本語はわかりますか？
「どうしましたか、いつからですか？」

友人は、安心して話すことができました。

次に受診したとき、受付の人も医師も「やさしい日本語」を使ってくれたそうです。友人家族のために、みんなで勉強したと言われた、と喜んでいました。ここならずと通えそうと言っていました。



動画



問い合わせ先：医療×「やさしい日本語」ラボ
<https://www.i-plainjapanese-tokyo.info>
TEL: 03-5802-1386 / 03-3814-0511



選定された作品は
教材動画になります！